

PRESS RELEASE

弊社取締役の福住尚将が、「戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型）日EU共同研究」通称「e-VITA」のEU-Japan Online Conference on Virtual Coaches for Smart Agingに登壇決定
=株式会社RARECREWが展開するシニア対象のマーケティング現状を講演=

株式会社RARECREW（本社：東京都台東区・代表取締役 日下部竜太）は、弊社の取締役である福住尚将が、「戦略的情報通信研究開発推進事業（国際標準獲得型）日EU共同研究」通称「e-VITA」のEU-Japan Online Conference on Virtual Coaches for Smart Agingに登壇が決定したことをお知らせいたします。

今回のカンファレンスは、e-VITAの中間会議です。e-VITAはICTを活用し、高齢者の自立した生活をサポートする、仮想コーチングシステムで、個人の行動、生活のモニター結果より得た情報を基に個々人の状況、嗜好に応じた生活アドバイスを行うシステムです。これにより、高齢者の認知機能、身体活動、心的健康、社会的交流を改善し、ウェルビーイングの向上、セルフケア能力の向上を目指す、日本とEUの共同プロジェクトです。

この中間会議の第4セッション「活用—シルバー経済とマーケットにおいて、弊社福住が「高齢者を対象にしたマーケティングの解題とデータの汎用性—RARECREWの取り組みから見えた実情—」、英題「MARKET RESEARCH ISSUES AND MARKETING DATA VERSATILITY = FACTS FROM RARECREW'S MARKET RESEARCH TARGETING OLDER PEOPLE」について論じます。

弊社は2016年から、弊社が運営する高齢者介護施設において食品・日用品を販売、2020年からは衣料品を販売しております。多種多様な商品を販売する中で、「介護サービスを利用するお年寄りが本当に必要とする商品やサービス」とは異なる現状を把握し、その問題提起としてシニアを対象としたマーケティング事業を展開しております。さまざまな企業のマーケティングを受託すると同時に、弊社社員が介護施設利用者とのコミュニケーションから感じたジェネレーションギャップなどについての調査やそのニュースレターを刊行しております。このように高齢者介護事業を展開している企業がマーケティング事業も展開することは国内においては少ないケースであるが故、その取り組みから見えた問題点を発表することで、e-VITAに寄与できるものと考えております。

プロフィール

福住尚将 Naoyuki Fukuzumi

1978年 東京都生まれ

大正大学大学院人間学研究科社会福祉学専攻博士前期課程終了



2012年～株式会社RARECREW 取締役 事業戦略室長（現職）

2018年～国立大学法人琉球大学国際地域創造学部 非常勤講師（現職）

●会社概要

社名：株式会社RARECREW

住所：東京都台東区東上野6-1-1 高長ビル3階

設立：2002年4月

代表者：代表取締役 日下部 竜太

事業：企業向けシニアマーケティング事業、移動販売事業、通所介護事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業、福祉用具貸与販売事業、流通・卸・小売事業

URL：<https://www.rare-c.co.jp>